

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公表番号】特表2008-519568(P2008-519568A)

【公表日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2008-022

【出願番号】特願2007-540380(P2007-540380)

【国際特許分類】

H 04 L 12/56 (2006.01)

H 04 Q 7/38 (2006.01)

H 04 Q 7/22 (2006.01)

H 04 Q 7/28 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/56 100D

H 04 B 7/26 109G

H 04 Q 7/04 J

H 04 B 7/26 107

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月31日(2008.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線送信／受信ユニット(WTRU)であって、

複数の無線アクセス技術(RAT)固有プロトコルスタックを含むデータプレーンであって、複数の無線アクセス技術(RAT)固有プロトコルスタックのそれぞれはPHY層、MAC層及びモビリティ管理アプリケーション層を含むデータプレーンと、

モビリティ管理についての情報、コマンド及びトリガーを、複数の無線アクセス技術(RAT)固有プロトコルスタックのそれぞれの各PHY層、各MAC層及び各モビリティ管理アプリケーション層と直接通信するように構成されたIEEE802.21 MIHプレーンと

を備えたことを特徴とする無線送信／受信ユニット。

【請求項2】

前記IEEE802.21 MIHプレーンは、複数の無線アクセス技術(RAT)固有プロトコルスタックのそれぞれのモビリティ管理アプリケーション層サービスと直接通信するように構成されるMIHLFC層をさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載の無線送信／受信ユニット。

【請求項3】

前記HLCFからハンドオーバーコマンドを受信するように構成されるMIHハンドオーバーファンクションをさらに備えたことを特徴とする請求項2に記載の無線送信／受信ユニット。

【請求項4】

前記IEEE802.21 MIHプレーンは、複数の無線アクセス技術(RAT)固有プロトコルスタックのそれぞれの各PHY層及び各MAC層と直接通信するように構成されるMIHLLCFをさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載の無線送信／受

信ユニット。

【請求項 5】

前記 I E E E 8 0 2 . 2 1 M I H プレーンは、前記 L L C F からハンドオーバーイベントインジケーションを受信し、ハンドオーバーが予め定められた基準に基づいて要求されているか否かを判定するように構成される M I H ハンドオーバーファンクションを備えたことを特徴とする請求項 4 に記載の無線送信 / 受信ユニット。

【請求項 6】

前記ハンドオーバーイベントインジケーションは、リンク品質、サービス・アベイラビリティ及びサブスクリプションのうちのいずれか一つに相当することを特徴とする請求項 5 に記載の無線送信 / 受信ユニット。

【請求項 7】

プロセッサが、無線アクセス技術 (R A T) 固有ハンドオーバーファンクションを実行するように構成される技術固有ハンドオーバープレーンを動作させるようにさらに構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の無線送信 / 受信ユニット。

【請求項 8】

無線送信 / 受信ユニット (W T R U) において行われる方法であって、
I E E E 8 0 2 . 2 1 M I H プレーンからデータプレーンにモビリティ管理についての情報、コマンド及びトリガーを通信するステップ
を含み、
前記データプレーンは、複数の無線アクセス技術 (R A T) 固有プロトコルスタックを含み、
複数の無線アクセス技術 (R A T) 固有プロトコルスタックのそれぞれは P H Y 層、 M A C 層及びモビリティ管理アプリケーション層を含み、
前記情報、コマンド及びトリガーは、複数の P H Y 層、 M A C 層及びモビリティ管理アプリケーション層のそれぞれと直接通信されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

M I H プレーンの M I H H L C F 層から複数の無線アクセス技術 (R A T) 固有プロトコルスタックのそれぞれのモビリティ管理アプリケーション層サービスに M I H H L C F 情報を直接通信するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。
【請求項 10】

M I H ハンドオーバーファンクションの H L C F からハンドオーバーコマンドを受信するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。
【請求項 11】

M I H プレーンの M I H L L C F から複数の無線アクセス技術 (R A T) 固有プロトコルスタックのそれぞれの各 P H Y 層及び各 M A C 層に M I H L L C F 情報を直接通信するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】

M I H プレーンの M I H ハンドオーバーファンクションの L L C F からハンドオーバーイベントインジケーションを受信するステップと、
ハンドオーバーが予め定められた基準に基づいて要求されているか否かを判定するステップと
をさらに含むことを特徴とする請求項 11 に記載の方法。
【請求項 13】

前記ハンドオーバーイベントインジケーションは、リンク品質、サービス・アベ伊拉ビリティ及びサブスクリプションのうちのいずれか一つに相当することを特徴とする請求項 12 に記載の方法。